

宗内寺院紹介 **31**

小松山
無量寿院

大興善寺



奈良時代養老元年（七一七）行基菩薩の開創と伝え、近隣の崇敬を集めていたが、平安朝承和年中火災のため消失。その後、慈覚大師が入唐求法帰朝の砌、承和十四年（八一七）、名刹の消失を嘆き、この地を訪れて再興され、この寺に、唐長安の名刹「大興善寺」の名を冠して「大興善寺」と命名される。

それより千二百年。幾多の変遷を経て今日に至るも、先代住職「神原玄祐師」は、仏の慈悲を花に具現し、花の浄土を築く信念をもつて、境内・裏山一帯につつじの苗を植え、遂には「一つつじ寺」と称されるまでの発展を遂げる。現在は、つつじと合わせ、九州を代表する紅葉の名刹としても著名で、「古寺名刹百選の寺」として、全国より多くの参拝者を迎えている。昔ながらの茅葺の佇まいが特徴。本尊は、行基菩薩作と伝える十一面観世音菩薩である。

小松山
無量寿院 **大興善寺**

住所／〒841-0203 佐賀県三養基郡基山町大字園部3628

電話番号／0942-92-2627